トピックス

深海のサメ？エビ網で獲れる！

平成22年3月19日に伊豆漁協須崎出張所所属船の清徳丸の長谷川さんから、須崎港近くの水深10mにおいたエビ網で銀色のサメ（写真１）が獲れたが、どんな魚かという持ち込みがありました。

魚体を調べたところ、普通のサメと異なり鰓孔を一対しか持たず、体色は銀色で、大きな胸ビレがあり、背ビレには大きな棘を持っていました。通常サメやエイの仲間の鰓孔は5～7対ありますので、この魚はサメではありません。さらに詳細に調べたところ、臀ビレがあり、体の側面にある側線は小刻みに波打つ（写真２）ことから、軟骨魚綱に属する全頭類（Holocephali）のギンザメ（*Chimaera phantasma* 全長83cm、体重3,104g、メス）と判断しました。

ギンザメは、北海道以南の太平洋岸、東シナ海の水深90～540mに生息する深海魚です。多く獲れる魚ではなく、食用にされるという話は聞きません。また、ギンザメの属名*Chimaera*(キメラ)は、独特な姿形が、キメラ（ギリシャ神話に登場するライオンの頭、ヤギの胴、蛇の尻尾を持った怪物、転じて異質な2面性を持つものの比喩として使われる）を想像させることに由来したと言われています。他にも珍しい魚の情報をお待ちしています。

写真１　ギンザメの全体写真
体色は銀色で、1対の鰓孔を持つ。

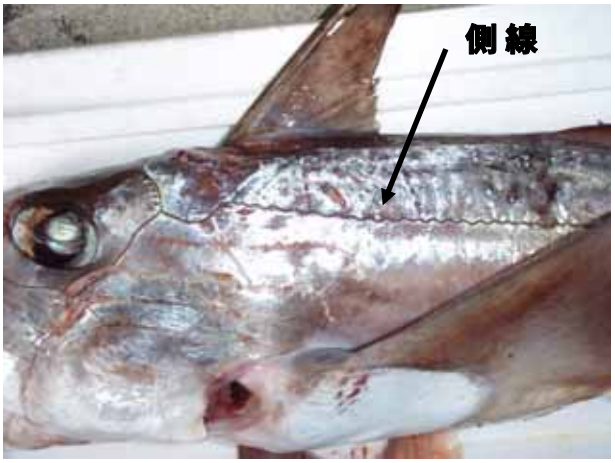

写真２　ギンザメの側線
体の側面にある側線が小刻みに波打つ。

（飯沼紀雄）